

技術革新と顧客満足を追求し続けた半世紀

50th anniversary

東京エレクトロン(TEL™)は、2013年11月に創立50周年を迎えます。1963年の創業以来、常に時代の一步先を見据え、市場ニーズに応えるべく事業形態を変化させながら、先端エレクトロニクスの分野において技術革新をリードしてきました。本格的なモバイル・ビッグデータ時代を迎えた今、半導体は新たな成長期に入りつつあります。次の半世紀に向けて、当社は、技術開発を強化し、さらなる企業価値の向上を目指します。

創立50周年記念ロゴマークのご紹介

東京エレクトロンは、2013年11月11日に創立50周年を迎えるにあたり、創立50周年記念ロゴマークを制定いたしました。



夢のある未来社会へ向けて

このロゴマークは、東京エレクトロン創立50周年を機に、新たな未来へ向けた私たちの意思を表明するシンボルとして制定されました。私たちが標榜する「夢のある未来社会」のあり方を、「ひと」と「先端科学技術」と「環境・自然」が手を取り合い、ひとつの軸として動き出す姿によって象徴しています。このロゴマークをさまざまなTELのコミュニケーションの場、アプリケーションに活用していくことを通じて、社員同士も手を取り合い、一丸となって未来社会に貢献していけることを願っています。

創業の時代、 技術商社としてスタート							ビジネスの大転換、 輸出ビジネスから撤退							メーカー機能を強化、 合併会社を次々と設立							自社生産の拡大、 世界のリーディング カンパニーへ							グローバル化の時代							生産革新							新たな成長への 挑戦								
63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13

ICテストや電子部品など
最先端の技術製品の輸入、
カーラジオなど民生機器の
輸出を手がける

1963
創業



当時のカーラジオ

1964
半導体製造装置
輸入事業に参入



サームコ社製拡散炉

売上の6割を占めるカー
ラジオなどの民生機器の
輸出から撤退

付加価値の高い半導体製造
装置、コンピューター関連
機器、電子部品の輸入に
特化

1968

テル・サームコで
拡散炉の国内生産開始



海外メーカーとの合併事業の中から
独自の製造技術を培うとともに、
総合研究所を設立して
研究開発機能を強化

1980

東京証券取引所市場
第二部上場

1984

東京証券取引所市場
第一部に指定替え

半導体製造装置メーカーとして
現在の製品基盤を築く

1986-1987

新たに製造子会社を設立し、
合併会社を再編するなどして
メーカー機能を強化



1986

総合研究所完成



1990

液晶ディスプレイ製造
装置事業に本格参入



海外の販路開拓と技術
サポートのために、
拠点のグローバル展開を
強力に推進

1996

Tokyo Electron
America新本社ビル
およびトレーニング
センターを開設



新生産方式採用など
生産性向上に取り組む

2007



東京エレクトロン九州
新生産棟完成

自社開発に加えて、
外部から積極的に
次世代技術を導入

2011



東京エレクトロン宮城
新工場設立

2012

4件の企業買収を実施



2002



アルバニー・ナノテク
プログラムに参加

2009



TEL Technology
Center, Taiwan

2012



テクノロジー
センターつくば

2012



TEL Technology
Center, Korea

Accelerating

technology
development

Technological innovation
creates value
for stakeholders